

埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 会報

第 603 号

平成26年 1月20日編集

発行所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電話 048(645)1906
FAX 048(648)1865
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL : http://www.saitama-vma.org/
振替口座 00110-9-195954番

発行責任者 高橋 三男
編集責任者 三森 信行
印刷所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

新年の御挨拶…………… 1
平成25年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会
開催報告…………… 3
死亡した牛の届出について…………… 7
獣医師の就業実態に関する調査への協力の
お願い…………… 8

会務報告
「新春懇談会」開催に関する打合せ会 …… 9

予告
西支部学術講習会のお知らせ…………… 9

ひろば
新入会員の抱負…………… 10
会員(埼玉県生活衛生課ほか)が埼玉県知事
功績表彰を受賞…………… 10
西支部学術講習会開催報告…………… 11
さいたま市支部学術講習会開催報告…………… 11

お知らせ
埼玉県獣医師会公益社団法人移行記念
新春懇談会開催の御案内(再掲載)…………… 12

埼玉県獣医師会ボウリング大会開催の
お知らせ(再掲載)…………… 13
「研修用学術ビデオ」利用の御案内 …… 14
埼玉県獣医師会開業会員の確定申告
個別相談会開催のお知らせ…………… 14

訃報
故 小島義男先生のご逝去を悼んで…………… 15

切り抜きニュース
○盲導犬 この子は適任?
- DNA チェッカー…………… 17
○日本旅行のドイツ人デング熱に…………… 18

埼玉県獣医師会学術広報版 …… 18

事務局より
事務局メモ…………… 20

編集後記…………… 21

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めま

す。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう



新年の御挨拶

公益社団法人 埼玉県獣医師会

会長 高橋 三男

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、輝かしい平成26年の新春を健やかに迎えの心からお慶び申し上げます。

また、日ごろから本会の業務運営に対しまして、深い御理解と温かい御支援を賜っておりますことに厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返ると、国政では、安倍政権が発足して1年が経ち、経済再生のため矢次早に放った金融・財政政策の効果で日本経済にもようやく明るい兆しがみえつつあります。また、2020年の東京オリンピック招致や富士山の世界遺産登録など、日本中が歓喜にわいた話題も多い一年でした。

その一方では、東日本大震災に伴う原発事故の処理や、消費税率の引き上げなど国民への負担も増加しつつあり、アベノミクスの「成長戦略」により、経済が本格的な成長軌道に乗り、明るく展望の持てる社会になることを強く願うものであります。

このような中、埼玉県獣医師会にとりましては、激動の一年であったと言っても過言ではありません。

4月1日には、公益社団法人として新たなスタートを切ることができました。この間、公益法人移行に向け御尽力いただいた関係の皆様へ深く感謝申し上げます。埼玉県獣医師会は、社団法人として昭和24年に発足し、公益性の高い事業を中心に人と動物に関わる様々な活動に取り組んでまいりましたが、今回の移行を契機として、これまで以上に社会に貢献できる団体を目指していきたいと決意を新たにしております。

また、昨年5月には、埼玉県知事と「災害時における愛護動物の救護活動に関する覚書」を締結いたしました。この覚書は、埼玉県域において地震、風水害など大規模災害が発生した場合における愛護動物の救護に関して、埼玉県獣医師会が獣医療の提供などの面で埼玉県の救護活動に協力するもので、具体的内容については、今後、県当局

と協議を重ねてまいります。

さらに、9月16日には、長きにわたり御指導を賜ってまいりました前埼玉県獣医師会会長の五十嵐幸男先生が御逝去されました。先生は、日本獣医師会の第10代会長も務められ、数々の御功績により旭日重光章をはじめ多くの受章、表彰も受けられました。これまでの御指導に深甚なる感謝を申し上げます。

さて、獣医界を取り巻く情勢は、国民の意識や価値観が多様化するなか、大きく変化してきており、特に、動物病院では、高度医療や夜間診療などに対する飼育者からの要望は強く、その対応を迫られるなど経営環境は大変厳しい状況にあります。

一方、狂犬病につきましては、昨年、これまで清浄地域と思われていた台湾で、狂犬病の感染が野生動物の間で拡大していたことが判明しました。国内では、昭和31年以降、発生を見ておりませんが、海外では、本病に感染して年間約5万5千人の方が命を落としており、近隣地域で新たに発生したことを大変危惧しております。

さらに、口蹄疫や鳥インフルエンザ等の感染症も海外では依然として発生が続き予断を許さない状況にありますし、食中毒や食品表示など、食の安全・安心の確保に対する国民の関心も、増々高まってきております。

このような状況にあって、埼玉県獣医師会が県民の期待に応えてまいりますためには、動物の健康はもとより、人の健康や自然環境の保護など、人々の生活に直結した幅広い分野で御活躍されておられる会員一人ひとりの御尽力が不可欠です。

私は、皆様とともに社会に貢献する公益団体として「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い」を基本理念に、引き続き、次の点に努力してまいりたいと考えております。

1 地域に貢献する公益社団法人として、社会から期待され、信頼される公益団体を目指すのと

もに、これまでの活動で培ってきた伝統を受け継ぎながら新しい時代に向けて適切な会務運営に努めてまいります。

- あらゆる機会を捉え、獣医師及び獣医師会の果たす社会的使命や役割を広く情報発信するとともに、施策提言に努めます。

また、「獣医師の誓い－95年宣言」、「埼玉県獣医師会会員憲章」並びに「獣医師会活動指針」に則り、会員の法令遵守と獣医師職業倫理の高揚を図ります。

- 国や県、市町村、関係団体との緊密な連携のもと、食の安全確保対策の推進や狂犬病等の人と動物の共通感染症の予防対策に適切に対応してまいります。

また、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザなど、家畜伝染病の発生予防、早期の通報、迅速な初動防疫、並びに、飼養管理基準の遵守等について、行政機関と連携して指導に努めます。

- 動物達は、活躍の場は広がり、今や、私達の生活にとって身近でかけがえのない存在になっており、人と動物が共存する豊かな地域社会の実現を目指して「埼玉県動物愛護管理推進計画」の着実な推進を支援します。

また、命の尊さを通じ豊かな感性を育てる学校動物飼育活動や動物福祉の増進等の取組を推進します。

- 災害発生時の動物救護対策については、昨年、埼玉県と締結した「災害時における愛護動物の救護活動に関する覚書」に基づき、埼玉県と連携し具体的な救護体制の整備に取り組みます。

また、傷病野生鳥獣の保護管理につきましては、埼玉県の進める保護対策事業を推進し、生物多様性の保全を図ります。

- 「学術の埼玉」として学術講習会や交流会等を積極的に開催するとともに、各種学会への会員の参加を支援し、受講機会の拡大に努めることにより、知識、技術の高位平準化を図り、その成果を広く県民に還元してまいります。

さらに、日本獣医師会「獣医師生涯研修事業」については、本会が全国トップの実績を誇っており、引き続き、会員の事業参加を促進します。

- 彩の国畜産フェアや動物愛護フェスティバル、日本獣医師会の主催する動物感謝デー等に積極的に参加し、獣医師会の果たす役割と会員

の活動内容を広く県民に啓発してまいります。

今日の多様化した時代にあって、埼玉県獣医師会が、公益団体として社会に貢献し続けていくためには、会員の皆様がお互いに連携を強め、団体としての総合力を発揮して諸課題の解決に結び付けていくことが重要なことと考えております。

また一方では、私たち獣医師会の活動は、行政機関からの適切な御指導・御支援をいただきながら地域の皆様の御理解を得る努力も必要であり、更には政治や経済界の方々の御支援も重要です。

このため、2月6日には、県や市町村等の行政機関をはじめ、関係団体や政財界等の皆様にも御案内申し上げ、公益社団法人移行を記念して新春懇談会を開催いたします。特に記念講演の講師には、この度、新たに日本獣医師会の会長に就任された藏内勇夫会長をお招きするほか、東京大学大学院教授で附属動物医療センター長の辻本元先生からは大学病院の立場から見た動物病院の在り方について御講演をいただきます。是非、多くの会員に御出席いただき、この機会に関係する皆様方との交流の輪を広げていただきたいと思います。

私は、日本獣医師会の関東地区選出理事に加え、昨年、全国会長会議の常設議長を拝命いたしました。獣医師会組織が一体となって推進しなければならない課題が山積する折、日本獣医師会と地方会とが連帯感をもって課題解決に取り組めるように努力してまいります。

今後とも、国や地方、県や市町村、更には政治や各種団体等、各界、各層との連携を密にし、時代の潮流を見定めながら、最善の努力を傾注してまいりますので、皆様の一層の御支援をお願いいたします。

今年は午年です。馬と人間の付き合いは長く、古くから生活を共にしてきた動物です。また、神の乗り物として、広く信仰の対象ともなっております。

馬ほど人の役に立ち人の暮らしに深く関わる動物はありませんが、私たちも馬にあやかり、暮らしに関わり社会の役に立つ獣医師会でありたいと願っております。

会員の皆様にとりまして、本年が希望に満ちた素晴らしい年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。

平成25年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会開催報告

埼玉県農林部畜産安全課

平成25年12月20日(金) 午前9時30分から、さいたま市の「埼玉会館3C会議室」において、埼玉県農林部の獣医・畜産関係職員並びに埼玉県獣医師会等関係者、57名が参加するなかで、平成25年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会を開催しました。

この発表会は、県畜産関係機関の日常業務に関連して実施した事業や調査等の業績について発表と討議を行い、家畜衛生及び家畜管理技術の改善向上に資することを目的として毎年度実施しているものです。

1 開 会

発表会は、関根貴司県畜産安全課主幹の司会で進行しました。手嶋顕久埼玉県食品安全局長の挨拶に続き、助言講師をお願いした、独立行政法人動物衛生研究所の秋庭正人主任研究員、一般財団法人日本生物科学研究所の上塚浩司研究開発部次長、公益社団法人埼玉県獣医師会の高橋三男会長、川越家畜保健衛生所の中島一郎所長、農林総合研究センターの鴻巣泰畜産研究所長の5名の先生方、並びに、来賓としてお招きした埼玉県獣医師会の小暮一雄副会長を御紹介いたしました。



助言講師の先生方

前列左から 高橋三男埼玉県獣医師会会長、上塚浩司日本生物科学研究所研究開発部次長、秋庭正人動物衛生研究所主任研究員

後列左から 中島一郎川越家畜保健衛生所所長、鴻巣泰畜産研究所長



来賓として出席された埼玉県獣医師会
の小暮一雄副会長

2 発表・討議

発表内容は3部から成り、第1部では「家畜保健衛生所の運営及び企画推進に関する業務」に関して9題の発表がありました。また、第2部の「家畜保健衛生所及び病性鑑定施設における家畜の保健衛生に関する試験及び調査成績」については7題、第3部の「家畜保健衛生所以外の畜産関係機関における試験、研究、調査成績」については2題、合計18演題の発表が午後4時まで行われました。

3 審査結果

発表終了後、助言者を代表して秋庭正人動物衛生研究所主任研究員に審査結果の発表と講評をお願いいたしました。審査に当たっては、平成26年2月7日の関東甲信越ブロック業績発表会が埼玉県の当番で開催される折でもあり、他県の発表に対抗できる内容との視点に立ち、本県代表として3題を選出したとの報告がありました。また、秋庭先生には、講評に当たって、全ての発表演題についての的確な助言をいただき、発表者にとって今後の業務推進に大変参考となるものになりました。

続いて、高橋三男埼玉県獣医師会会長には、審査に当たっての所感と埼玉県獣医師会長賞の発表をお願いしました。

高橋会長は、「皆様には早朝から貴重な報告をいただいた。本日の発表は先輩・後輩が連携して取り組んだ1年間の成果であり、生産者や消費者のために今後とも御尽力願いたい。私は、日本獣医師会の全国会長会議の常設議長を拝命したが、日本獣医師会と地方会とが一体感をもって課題解決に取り組めるように努力したい。日本獣医師会では藏内新体制の下、日本医師会との連携や狂犬病予防体制の整備などの課題について特別委員会を立ち上げており、中村滋副会長と小暮一雄副会長にそれらの委員に就いてもらい活動に協力していきたい。また、2月6日には、公益社団法人への移行を記念し、新春懇談会を開催することとした。県や市町村、日本獣医師会等の関係者をお招きするので、この機会に多くの方々と交流を深めてもらいたい。代表となった方々の関東ブロック発表会での活躍を祈念する。」と御挨拶され、埼玉県獣医師会長賞として、取組が斬新で学術的に優れている3題を選出したと報告いただきました。

4 表彰及び閉会

審査結果の発表後、関東甲信越ブロック業績発表会への本県代表に選出された3名には梅澤畜産安全課長から、また、埼玉県獣医師会長賞に選出された3名については、高橋三男会長、小暮一雄副会長などから功績をたたえ表彰状が授与され、午後5時に閉会となりました。

表彰を受けた演題は次のとおりです。



埼玉県獣医師会会長賞受賞者を囲んで
 右から 小暮一雄埼玉県獣医師会副会長、高橋三男同会長、受賞者の曾田泰史先生（中央家保）、中村嘉之先生（畜産研究所）、油井武先生（中央家保）、水島健雄埼玉県獣医師会常務理事

《第55回関東甲信越ブロック家畜保健衛生業績発表会の本県代表演題》

1 演題名 高病原性鳥インフルエンザ発生を想定した埼玉県防疫演習

（川越家畜保健衛生所 森田梢ほか）

埼玉県では、平成25年11月13日、高病原性鳥インフルエンザ発生時の初動防疫を迅速・適切に進めるための体制を強化する目的で、特に平成17年8月の県内での発生経験を踏まえ、生産者、県、市町村、団体等を対象に深谷市で防疫演習を実施。机上演習では、異常鶏の発生通報からの一連の防疫作業の流れを説明。実地演習では、健康診断に始まり、防疫服の着用、仮設農場での生きた鶏のケージからの取り出し、模擬鶏を用いた殺処分作業、汚染された防疫服の消毒と脱衣、除染テントでの着替えまで一連の流れを体験。今後も、本病の万一の発生に備えた演習を通じて、関係機関との連携を強め、防疫体制を一層強化していく。

2 演題名 アンケート調査にみる養蜂の課題

（熊谷家畜保健衛生所 田代卓也ほか）

養蜂の実態を把握するため、管内蜜蜂飼育届出者127名に対してアンケート調査を実施した。調査内容は業態などの一般的事項、蜜源、苦情、伝染病、衛生管理等である。回答者は85名で、業態の内訳は本業9%、副業49%、趣味42%であった。伝染病認知度は腐蛆病、チョーク病で高く、ノゼマ病、バロア病で低かった。衛生管理実施率は巣箱で高く、蜂場の消毒で低かった。伝染病認知度、衛生管理実施率ともに本業や副業と比較して趣味養蜂家で低い傾向にあった。本調査から、趣味養蜂家に対する衛生指導及び情報提供の重要性を確認した。蜜蜂の適正管理推進のため、今後は養蜂家とより緊密に連絡を取り、支援・指導体制を構築していきたい。

3 演題名 牛呼吸器病由来 *Mannheimia haemolytica* 株の性状調査および同定法に関する一考察 (中央家畜保健衛生所 荒井理恵)

Mannheimia haemolytica (Mh) は牛呼吸器病の主要な原因菌であり、血清型 1 型菌に対するワクチンが市販されている。今回、平成元年～25年に呼吸器症状を呈した牛から分離された株について、簡易同定キット・遺伝子検査による再同定後、血清型・薬剤感受性を調査した。供試株44株全てが簡易同定キットにより Mh と判定されたが、PCR検査により Mh と同定されたのは44株中42株であり、残り 2 株は16S rRNA 遺伝子解析の結果、*Mannheimia* 属菌と同定された。Mh42株の内、血清型 1 型は19株、6 型は16株、型別不能は 7 株であった。薬剤感受性試験ではABPC、KM、OTC、CP、ERFXに耐性株が認められ、ERFX耐性株は全て 6 型菌であった。以上から、Mhの同定にはPCR検査を活用すべきと考えられ、また、ワクチン株とは異なる血清型 6 型菌の県内への侵入が初めて明らかとなった。

《埼玉県獣医師会長賞を受賞した演題》

1 演題名 牛B群口タウウイルスに関する成牛下痢症マルチプレックスRT-PCR法の再検討 (中央家畜保健衛生所 曾田泰史ほか)

県内にて、成牛下痢症マルチプレックスRT-PCR(マルチPCR)で検出できない牛B群口タウウイルス(RVB)病が確認された。マルチPCRで検出できない原因を究明するため、遺伝子解析を実施したところ、RVBフォワードプライマー(9B3)領域の21塩基中に 3～4 塩基の置換があった。また、RT-PCRキットを従来のA社からB社に変更したところ、9B3領域の置換が 3 塩基の事例ではRVB特異遺伝子が検出可能となった。しかし、4 塩基の置換があった事例ではB社キットを用いても検出できなかった。以上から、マルチPCRで検出できなかった原因として、プライマー領域の塩基置換と使用するRT-PCRキットの感度が考えられた。

2 演題名 県内養豚場における *Cryptosporidium* の分子生物学的手法を用いた疫学調査 (中央家畜保健衛生所 油井武)

豚に感染した *Cryptosporidium* (Cr) を検出する目的で 8 農場344頭分の糞便を免疫蛍光染色検査した。Cr感染率は平均32.6%、月齢別感染率は、離乳後で最も高く47.7%、繁殖豚で最も低く13.5%であった。糞便 1 g中のオーシスト数(OPG)も感染率と同様の傾向であった。さらに、18SrRNA遺伝子配列解析した結果、37分離株は *C. suis* または *C. scrofarum* と同定された。*C. suis* は哺乳豚と 1～2 ヶ月齢豚で多数検出された。4～6 ヶ月齢豚は、全分離株が *C. scrofarum* であった。Actin遺伝子領域の配列分析は、*C. suis* と *C. scrofarum* に変異株を認めた。以上により、Cr分離株は *C. suis* と *C. scrofarum* のみで、感染率、OPG、Cr種に月齢特異性が認められた。

3 演題名 おいしい黒豚を食卓へ～先端技術を用いた効率的な繁殖方法～ (農林総合研究センター畜産研究所 中村嘉之ほか)

英国産純粋種をもとに改良された埼玉県産黒豚は、種豚の入手が困難であるため、農家において血縁の更新が出来ず、産子数の低下や発育遅延など経営上大きな問題となっていた。そこで、H21年に英国から黒豚純粋種(計6頭)を輸入し、繁殖・産肉性の能力評価試験を実施するとともに、先端繁殖技術を利用して、貴重な遺伝資源の保存および利用方法の開発を行った。その結果、導入した種豚の繁殖性や産肉性は、従来の県内産黒豚より優れ、埼玉県で開発した超少量凍結精液の人工授精方法で、日本で初めて6頭中5頭が分娩し、合計31頭の子豚を効率的に誕生させることに成功した。生産した黒豚は、県内農家へ供給され、開発した技術を用いることで、生産コストの削減や広域流通が可能となり、優れた種豚の安定的供給、おいしい豚肉の安定生産が可能となった。

畜安第656-2号

平成25年12月17日

(公社) 埼玉県獣医師会長 様

埼玉県農林部畜産安全課長

(公印省略)

死亡した牛の届出について (通知)

日頃より、家畜衛生行政の推進につきまして、御協力いただき感謝申し上げます。

さて、標記につきまして、「牛海綿状脳症対策特別措置法」第6条第1項及び「埼玉県における牛海綿状脳症（BSE）対応マニュアル」Ⅱの2の(1)に基づき、獣医師が24か月齢以上の死亡牛を検索した場合は、埼玉県中央家畜保健衛生所ストックポイントに届出いただいているところですが、一部に届出の遅延（届出のない牛がストックポイントに搬入）や、記載事項（死亡時の状態等）の不備が散見されています。

つきましては、死亡牛の遅滞ない届出等について、改めて貴会会員に周知をお願いいたします。

また、届出に当たっては、事務処理の錯誤を防止するため、FAX等の書面で実施くださいますようお願いいたします。

なお、牛の所有者等への指導については、別添写しのとおり家畜保健衛生所に指示しておりますので御了知ください。



畜安第656-1号

平成25年12月17日

各家畜保健衛生所長 様

畜産安全課長

死亡した牛の届出について (通知)

標記について、「牛海綿状脳症対策特別措置法」第6条第1項及び「埼玉県における牛海綿状脳症（BSE）対応マニュアル」Ⅱの2の(1)に基づき、24か月齢以上の牛の死亡を確認した場合は、死亡した牛を検索した獣医師または牛の所有者が、遅滞なく中央家畜保健衛生所ストックポイントに届出するよう指導をお願いしているところです。

しかし、一部において、届出の遅延（届出のない牛がストックポイントに搬入）や、記載事項（死亡時の状態等）の不備が散見されています。

ついては、標記について、貴管内の牛所有者及び獣医師に死亡牛の遅滞ない届出等について、改めて指導をお願いします。

なお、関係機関へは別添のとおり通知しております。

25日 獣 発 第277号

平成26年 1月17日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

会 長 藏 内 勇 夫

(公印及び契印の押印は省略)

獣医師の就業実態に関する調査への協力をお願い

近年、新規獣医師の約半数を女性が占め、各分野でその役割が期待されており、各職域、各職場では、女性獣医師がより活躍できるように働きやすい就業環境を確保することが一層大切になっています。日本獣医師会では、昨年11月から、女性獣医師の就業支援とキャリアアップの推進システムの構築を図るために女性獣医師支援特別委員会を設置し、検討を進めているところです。

一方、検討を進めるにあたっては、男女を問わず、獣医師免許取得者の職域と就業に係る状況を正しく把握することが必要です。そこで、本会ではこのたび、農林水産省から補助を受け、下記のとおりアンケート調査「獣医師の就業環境等に関する現況調査」を行うことといたしました。

この調査では、実態をより正確に把握するため、獣医学上の知識を必要としない業務に従事している方や無職の方を含む、全ての獣医師の方を調査対象としています。貴会会員の皆様への積極的なアンケートへのご協力の呼びかけをいただきたく、よろしくご高配の程お願いいたします。

記

- (1) 調 査 名：獣医師の就業環境等に関する現況調査
- (2) 調査期間：平成26年 1月17日(金)～ 2月15日(土)
- (3) 調査機関：株式会社マクロミル
- (4) 調査対象：獣医師
- (5) 回答方法：専用ホームページへの入力
- (6) 専用ホームページURL：

<https://www.net-research.jp/airs/exec/rsAction.do?rid=609436&k=f50683d768>

(日本獣医師会ホームページの「トピックス」からアクセスも可能です。)

会務報告

「新春懇談会」開催に関する打合せ会

平成26年1月22日(水)午後1時30分から、さいたま市「大宮ラフォーレ清水園」において次の事項を協議した。

1 会長挨拶

本会は、行政当局など多くの皆様の御支援、御協力により4月1日から公益社団法人に移行することができた。移行後は、概ね、諸事業は順調に推移しているものの、これからの獣医師会は一層地域に密着した団体にならなければならない。このため、獣医療の提供の面では、動物病院間が連携することでホームドクターとして地域から信頼を得る努力も必要となる。この様な趣旨から、この度の新春懇談会を会員相互の絆を深める機会にもしてもらいたい。

本日は、新春懇談会の運営について協議いただくため、総務委員会を中心に関係する委員会の委員にお集まりいただいたので、よろしく御協力をお願いしたい。

2 協議事項

(1) 埼玉県獣医師会公益社団法人移行記念「新春懇談会」の開催について

懇談会参加者の状況を報告し、未だ出欠報告のない会員への出席督促方を依頼。また、懇談会は、総務委員会を中心に、開業第一及び第二運営委員会、学術委員会、狂犬病委員会がそれぞれ役割を分担し運営することとし、進行計画等について協議、決定された。

(2) その他

①第66回定時総会を、6月11日(水)に開催(予定)すること、②日本獣医師会の「獣医師の就業実態に関する調査」の実施と協力依頼、③日本獣医師会年次学会への事前登録推進等について協議、報告された。

予 告

西支部学術講習会のお知らせ

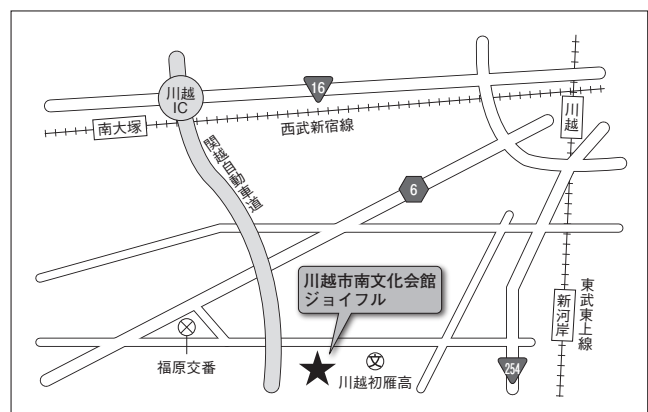
(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小3 (12))

西支部長 三森 信行

西支部では3月23日(日)に東京大学の松木直章先生をお招きして「内分泌を極める 糖尿病疾患の診断と治療のアップデート」と題して講習を行います。

年度末のお忙しいところと思われませんが、多数の先生方の御参加をお待ちいたします。

日 時	平成26年3月23日(日) 13:30~16:30
場 所	川越市南文化会館 ジョイフル 川越市大字今福1295-2 TEL 049-248-4115
演 題	内分泌を極める 糖尿病疾患の診断と 治療のアップデート
講 師	東京大学 松木直章 先生
参加費	埼玉県獣医師会会員 無料 会員以外の受講者 5,000円



新入会員の抱負

埼玉県獣医師会に入会して

さいたま市支部 山口 健

(みんなの動物病院)



愛娘&愛犬と

昨年、埼玉県獣医師会へ入会させていただきました山口健(やまぐちたけし)と申します。1997年に酪農学園大学を卒業後、県内の動物病院にて15年間にわたり勤務しておりましたが、一昨年、ご縁あって故松岡信郎先生がご開院なされた北浦和のマツオカペットクリニックを継承するお話をご紹介いただき、その12月に「みんなの動物病院」として開院に至りました。お陰様で昨年末に無事1年を迎えることができました。

開院にあたりましては、以前よりお付き合いのありました当獣医師会の諸先生方を始め、沢山の方々にお世話になりました。その対応の温かさに感激するとともに、いただいた御恩に報いたいなという気持ちにもなりました。それが当会入会へのきっかけともなっております。本当にありがとうございました。

入会後は懇親会や支部旅行等、各種イベントに楽しく参加させていただいております。諸先輩方がとても気さくに話しかけてきてくださり、入会した喜びを感じる日々です。また先日行われました新人研修会では、漠然としか認識しておりませんでした獣医師の社会的責任を解りやすくお話いただき、身の引き締まる思いがいたしました。

我が家には、趣味の自転車レースに付き合ってもらっている14歳の愛犬がおります。開業直前に悪性腫瘍の開腹手術を行いました。この際に飼主としての不安な気持ちを実感できたことで、私たちが飼主様に行ってさしあげるべき心のケアの重要性も再認識できました。私にとって沢山の大事なことを教えてくれる可愛い先生です。永く一緒にいて欲しいなと思っています。

まだまだ発展途上の私ですので、皆さまへお返しするよりもご迷惑をかけることの方が多いかと思います。埼玉県獣医師会員としての自覚を持ち、一言芳恩の気持ちを忘れずに精進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

会員(埼玉県生活衛生課ほか)が埼玉県知事功績表彰を受賞

公益社団法人 埼玉県獣医師会

平成26年1月10日(金)、埼玉会館において埼玉県職員表彰規程に基づく功績表彰が行われ、生活衛生課及び動物指導センター、保健所の動物指導、狂犬病予防担当職員(代表 黒崎嘉子生活衛生課長(衛生支部))が上田知事より表彰されました。

受賞の功績は、それぞれの機関が連携し共通意識を持ち、動物愛護行政「犬・猫の殺処分数の削減」に取り組むとともに、地域のボランティアや民間企業との協働による「地域猫活動」にも取り組み全国の先進事例となるなど、「動物にやさしい埼玉」の実現に大きく貢献したことが評価されたものです。

県では、平成20年3月策定の「埼玉県動物愛護管理推進計画」で、犬、猫の殺処分数を平成18年度の9,118頭から、平成29年度末までに4,500頭に削減する目標を立て、関係機関が連携し取り組んできましたが、既に23年度で目標を達成するとともに、平成24年度からは、更に殺処分「ゼロ」を目指して動物愛護行政に取り組んでいるところであり、今後、益々その成果が期待されております。



西支部学術講習会開催報告

西支部学術委員 矢萩 智男

12月15日(日)「川越市南文化会館 ジョイフル」において、学術講習会を開催いたしました。

今回は、麻布大学 川村裕子先生をお招きして「猫の化学療法」と題してご講演をいただきました。

昨今ペットの長寿化に伴い、腫瘍疾患の来院数が非常に増えています。特に猫では悪性度の高いものが多く、完全に駆逐することは大変困難な治療となります。

リンパ腫や肥満細胞腫、口腔腫瘍といった実例を挙げ、種々の化学療法剤について細かくご説明をいただきました。

また、癌を抱えながらも決してあきらめることなく、副作用が発現することのない程度の低用量の抗がん剤を使用して「癌死ではなく天寿を全うしていく」そんな天寿癌という考え方をお示しいただき、大変感銘を受けました。

日々の診療とご講演でお忙しい中、貴重なご講演をいただきました川村先生に、深くお礼を申し上げますと共に、獣医師会での行事が続く中にご参加下さったたくさんの先生方にも、合わせて感謝いたします。

西支部では今後以下のような講習会を企画しております。

3月23日(日) 内分泌を極める 糖尿病疾患の診断と治療のアップデート

東京大学 松木直章先生

松木先生には来年度もシリーズとして、甲状腺および副腎をテーマに2回の講演を予定しております。たくさんの先生方のご参加をお待ちします。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南第一支部	南第二支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
45名	3名	3名	1名	29名	1名	2名	3名	3名

さいたま市支部学術講習会開催報告

さいたま市支部学術委員 柏瀬 匠

1月13日(月・祝)さいたま市支部では、「With You さいたま」において、日本大学の枝村一弥先生をお招きし、「リハビリテーションってどうなの?～何をどのようにして行うか:最新知見を交えて～」というテーマでご講演いただきました。

かつては整形外科や神経外科を行った後に厳格なケージレストを行うことが主流でしたが、現在の認識は術後のリハビリテーションの達成度で治療成績が異なるということです。対象動物は手術症例だけではなく、高齢動物や様々な理由で運動機能障害を持つ動物であることや、リハビリテーションの具体的な種類や目的、方法をご教授いただきました。リハビリテーションは、あくまでも内科療法や外科手術を行った上での補助療法という位置づけですが、動物のQOL向上に多大な貢献をすることを学びました。

枝村先生、またご参加いただきました先生方に感謝申し上げます。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南第一支部	南第二支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
50名	25名	5名	1名	5名	0名	5名	7名	2名

お知らせ

埼玉県獣医師会公益社団法人移行記念

新春懇談会開催の御案内

公益社団法人埼玉県獣医師会

本懇談会は日頃、集合狂犬病予防注射業務等でお世話になっている市町村の皆様もお招きし開催しますので、多くの会員のご出席をお願いします。

なお、まだ出欠席の報告をされていない先生は、至急、前月の会報に同封の「出欠席報告書」により、事務局まで報告して下さい。(FAX、又はメール)

開催の趣旨

公益社団法人への移行という大きな節目に当たり、日本獣医師会との連携・連帯を一層深めるとともに、日頃から獣医療並びに獣医師会活動にご指導、ご支援を賜っている幅広い関係者をお招きし、獣医師会会員との交流を通じて、埼玉県獣医師会の新たな発展を図る。

日 時 平成26年2月6日(木)
午後1時15分～(受付 午後0時45分～)

場 所 大宮ラフォーレ清水園
さいたま市大宮区東町2-204

内 容

第1部 記念講演 (3階 孔雀の間)

午後1時15分～午後2時20分

(1) 獣医師会の目指すべき方向 日本獣医師会会長 藏内勇夫 先生

(2) 症例と飼い主のための大学動物医療センターへの紹介法

東京大学大学院教授 附属動物医療センター長 辻本 元 先生

対象者 埼玉県獣医師会会員・賛助会員等

第2部 交流(懇談)会 (3階 光琳の間)

午後2時30分～午後4時30分

内 容 開会挨拶、来賓祝辞、感謝状贈呈(公益法人移行関係支援者)、懇談等

参集者 埼玉県知事、さいたま市長、県選出の衆・参国會議員

県及びさいたま市議會議長、同議會議員、

県内市町村長、農林・商工・金融等関係機関の長

県関係行政機関の長、関東・東京地区獣医師会会長

埼玉県獣医師会会員・賛助会員 等

合 計 約200名

埼玉県獣医師会ボウリング大会開催のお知らせ

厚生委員会委員長 大橋 邦啓

厚生委員会がボウリング同好会の協力を得て、新たな企画として、埼玉県獣医師会主催「ボウリング大会」を次のとおり開催いたします。

多くの皆様に参加いただき、会員相互やご家族、関係者の皆様との親睦を深め、楽しい時を過ごして下さい。

- 1 日 時 平成26年2月11日(火、祝日)
集 合 午後3時30分
競技開始 午後4時
- 2 場 所 スポーツ浦和国际ボウル
さいたま市桜区中島4-1-1
電話 048-853-4921
- 3 参加費 1,500円(貸靴料は自己負担)
- 4 参加要件 会員とその家族及び従業員、賛助会員など
- 5 予定人員 60名(20レーン×3人=60人)
- 6 競技方法 一人2ゲームを投球し合計点で競います。
年齢や性別等を考慮し、ハンディキャップを設定します。
- 7 表彰式 競技終了後、ボウリング場内にて行います。
- 8 参加申込 参加を希望される方は、至急、氏名と年齢、性別を各支部厚生委員に伝えてお申し込み下さい。



広告

寄生虫対策の決め手にコレ一本!

フィラリア、ノミ、ミミヒゼンダニの対策が同時にできる、月1回のスポット剤



動物用医薬品 要指示

有効成分「セラメクチン」

レボリューション® 12%

zoetis®

製品特長

- **効果**
主成分セラメクチンは、単独で犬のフィラリアの寄生予防、ノミ成虫の駆除、ノミ卵の孵化阻害及び殺幼虫作用による寄生予防、ミミヒゼンダニの駆除に効果を発揮。
- **安全性**
生後6週齢の子犬、妊娠・授乳中の犬、フィラリア寄生犬、イベルメクチン感受性コリー犬などの各種試験で安全性が確認されている。
- **速乾性**
滴下式で速乾性。皮膚から速やかに吸収され、2時間後のシャンプーは有効性に影響しない。

ゾエティス・ジャパン株式会社
〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-22-7

「研修用学術ビデオ」利用の御案内

情報検討委員会 委員長 田中 裕
 学術委員会 委員長 新井 宣明

埼玉県獣医師会事務局で貸出用に保管されている獣医療技術などの学術ビデオテープについて、映像劣化を防止するため、会員の御協力を得てデジタル化を進めてまいりました。

この度、米国の大学獣医学部などで編集されたビデオテープをDVDとして再整備しましたので、御活用いただきたく御案内申し上げます。

なお、これらを含め貸し出しできるDVDやCDの主な内容は次のとおりであり、タイトルの詳細は埼玉県獣医師会ホームページの会員専用ページに掲載してありますので、必要な場合には事務局までお申し出ください。

- 小動物の臨床（診療技術や治療法など）
- 放射線診療技術
- 狂犬病など動物由来感染症に関する情報
- 家畜伝染病の診断

埼玉県獣医師会開業会員の確定申告 個別相談会開催のお知らせ

埼玉県獣医師会では、開業の先生方を対象に下記のとおり顧問税理士による個別相談会を開催いたします。ご希望の先生は事務局までご連絡下さい。

記

日 時 平成26年2月18日（火）

- ① 午後1時～ ② 午後2時～
 ③ 午後3時～ ④ 午後4時～

※個別相談となるため、希望者はあらかじめ埼玉県獣医師会事務局までご希望の時間を連絡して下さい。

なお、希望時間が重複する場合には調整させていただきます。

また、希望者多数の場合は、別の日時での開催を検討いたします。

場 所 さいたま市 埼玉県農業共済会館 2階 206会議

対 象 者 開業支部会員（税理士の関与がない先生を優先）

相談内容 獣医療に関する個人の確定申告（平成25年分）

対 応 者 埼玉県獣医師会 顧問税理士 間嶋順一 先生

事前準備 相談に必要な資料等事前準備をしていただく必要がありますので個別相談を希望する先生には、後日ご連絡いたします。

訃報

故 小島義男先生のご逝去を悼んで



弔辞

本日ここに故 小島義男先生の告別式に臨み、公益社団法人埼玉県獣医師会を代表いたしまして、謹んでご霊前に敬慕の情と哀悼の誠を捧げます。

時は流れ、世は大きく変革の時代を迎えた今日、まさに先人諸氏のご尽力のもと、60有余年の歴史ある埼玉県獣医師会も昨年4月、新たな公益社団法人として力強くスタートを切り、平成26年という輝かしい年を迎えたその日、松の内もよ

うやくすぎ、平穏な日々を迎えるなか、突然に入った先生の悲報に接し、未だその驚きを禁じ得ません。

ご家族、ご親族の皆様のご心中を察するに、余りあるものがございしますが、悲しき現実の前に、ただただ首を垂れるばかりであります。

先生は、昭和2年9月15日、生を受け、若き志をもって獣医学の名門、麻布獣医専門学校、後の麻布獣医科大学、現在の麻布大学に学ばれ、優秀な成績でご卒業なされ、昭和24年獣医師免許を取得後、埼玉の誇る一大農業地帯である熊谷地域の大きな期待と負託に応え、ご当地において小島獣医科医院を開設されました。戦後の混乱期に於いて、我が国の食料増産が大きく叫ばれるなか、時代の要請に応え貴重なタンパク源を供給する畜産振興に向け、農業共済組合の指定獣医師として、牛や豚を中心に産業動物の診療業務に邁進なされるとともに、埼玉県獣医師会会員として、獣医学の幅広い分野で地域の発展に大きく貢献をなされたところであります。

埼玉県獣医師会の運営に当たりまして、同じ熊谷の地の栗田武男会長、更には五十嵐幸男会長の信望も非常に厚く、その推薦を受け、私が厚生委員長の時には副委員長として、更には獣医事調査委員長の時には委員として、常に私と車の両輪の如く一緒に会務推進にあたり、円滑な運営にご尽力を頂きました。この間、会員の信望も厚く、まれにみる敏腕を如何なく発揮され、全身全霊で会の発展に取り組み、ご活躍をなされ、大きな足跡を残されましたことは、衆目の一致するところであります。

地元熊谷に於きましては、昨年まで熊谷地域狂犬病予防協会の会長を務める一方、深谷家畜市場の指定獣医師、更には、40年以上の長きにわたり埼玉県調理師専門学校の講師を務めるなど、非常に幅広い分野でご活躍なされておったところをごぞいまして、これら先生の数々のご功績に対し、昭和63年には、関東地区獣医師大会において獣医事功績表彰を、また平成10年の埼玉県獣医師会創立50周年記念式典においては、日本獣医師会長賞を受賞されるなど、数々の表彰の栄に浴されたところをごぞいまして。

また、先生は、麻布獣医専門学校在学中は、弁論部に所属していたとのことでありまして、もって生まれた明るい性格と流暢な話術は、名司会者として、私を始め常に参加者の記憶に大きく残るものであります。

また、家庭にあっては大変なご家族思いで、3人のお子様と7人のお孫さんに恵まれ、特に二男の満(みつる)さんは、先生の後姿を見て獣医師の道を志し、北里大学をご卒業後、先生の意志を立派に受け継ぎ、埼玉県農業共済組合連合会勤務を経て、現在、開業獣医師としてご活躍中のごぞいしますが、特に平成20年6月からの3年間、地域から推されて、埼玉県獣医師会開業第一運営委員会の委員をお務めになられるなど、今や、地域を背負って立つ立派な獣医師としてご活躍されております。私も会長として将来の埼玉県獣医師会を担う若き獣医師として、大いに期待しているところあり、先生なきあとも、全力でバックアップして参る所存でございましてご安心ください。

残念ながら、もう先生のお姿を見ることは叶わなくなっていました。

先生の残された、地域に信頼と期待され親しんでもらえる開業獣医師としての望ましい姿、このお姿は、私たちは如何に時代が変わろうとも決して忘れることなく伝えて参りたいと存じます。

埼玉県獣医師会も公益社団法人として新たな展開が期待されておりますが、私も長らく会長としてお世話になるなか、日本獣医師会の業務執行理事として、更には全国55の地方獣医師会と日本獣医師会を繋ぐ会長会議の常設議長といたしまして、先生を失った悲しみを乗り越え、先生の残された数々の教をこれからも受け継ぎ、地域に貢献する公益社団法人埼玉県獣医師会会長として、期待に応えられるよう一層努力して参りますことをここに決意を新たにお誓い申し上げる次第でございます。

敬愛する先生に永遠の別れを告げざるを得ない時が参りました。

先生を悼む気持ちは尽きませんが、今はただ、深甚なる敬意と感謝の念を捧げ、ご遺族の皆様方とともに先生のご冥福を心からお祈り申し上げ、追悼の辞といたします。

小島先生、さようなら、

さようなら さようなら。

平成26年1月13日

公益社団法人 埼玉県獣医師会

会長 高橋 三男

広告

松研の動物用生物学的製剤



こわい狂犬病から
ほくをまもってね

■ 松研狂犬病 TC ワクチン

動物用医薬品 要指示医薬品

豚用ワクチン

- 松研豚丹毒生ワクチン
- ポーシリス APP-N
- ポーシリス ERY
- ポーシリス STREPSUIS
- ポーシリス Begonia DF・10
- ポーシリス Begonia DF・50

水産用ワクチン

- Mバック レンサ 注
- Mバック イニエ
- 松研Mバック IPレンサ

※豚用ワクチンは要指示医薬品です。

研究開発元 一般財団法人 松岡科学研究所
製造販売元 松研薬品工業株式会社



〒184-0003 東京都小金井市緑町5丁目19番21号
TEL: (042) 381-0075 FAX: (042) 381-0344
URL: <http://www.32.ocn.ne.jp/~matsuken>
E-mail: matsuken@cf.mbn.or.jp

切り抜きニュース

盲導犬 この子は適任？ DNAチェック 集中力・穏やかさ必須

帯広畜産大が考案

犬のDNA（遺伝情報）のわずかな違いを調べて、盲導犬*になりやすい犬を見分ける方法を、帯広畜産大が考案した。子犬のうちに調べれば効率よく盲導犬を育成でき、実際に試したところ、合格率は5割を超えた。父親と母親の遺伝子を調べ、盲導犬にふさわしい組み合わせを調べる犬版「デザイナーベビー」の実用化を2年以内に目指すという。

盲導犬には、集中力や記憶力があり、穏やかで気が散りにくいなどの性格が適していると考えられている。こうした性格を備え、体が大きいレトリバー系の犬が選ばれることが多い。1歳を過ぎたところに適性を調べ、訓練を始める。しかし盲導犬になるのは狭き門で、訓練後の合格率は3～4割にとどまる。

鈴木宏志教授（家畜生命科学）のチームは、盲導犬になった犬となれなかった犬421匹の遺伝子配列のわずかな違い（SNP）を解析し、盲導犬にふさわしい性格に関連する10個のSNPを特定。SNPごとの特徴、組み合わせによって、盲導犬になれる確率が高い犬を見分けるモデル式を考案した。

昨年度、合否の判定前に28匹の犬に実際にこのモデルを試したところ、予測と一致した割合は5割強だった。今年度はさらに対象とするSNPや犬の数を増やし、予測の精度を7割以上に高めたいという。

このモデルを使えば、父親と母親の遺伝子の解析により、盲導犬になる子どもが生まれる確率の高い組み合わせを予測することも可能になる。チームは2015年度中に盲導犬の「デザイナーベ

ビー」を実用化する計画だ。現在の育種の交配では通常、外見などをもとに選んでおり、遺伝子までは調べていない。

鈴木さんは7年前に特定の五つのSNPを持つ犬の合格率が高いことを発見したが、五つのSNP全てを持つ犬は0.5%程度しかおらず、実用化は難しいことがわかった。今回の方法は精度はやや下がるが、より多くの盲導犬の誕生につながると期待できるという。人の遺伝情報の取り扱いには倫理的問題が多いが、犬では多くないとみている。鈴木さんは「盲導犬になれるかどうかは、生まれてからの環境もあるが、遺伝的要因が大きい。効率よく盲導犬を育成できれば、視覚障害者の方の希望にも応えやすくなる」と話す。

（岡崎明子）

※盲導犬

目の不自由な飼い主の指示に従い、目的地に誘導するために訓練された犬。盲導犬候補の雄は生後半年ごろに去勢し、雌は1年以内に不妊手術をする。潜在的需要も含めると盲導犬を必要とする障害者は約7800人という調査結果もあるが、現在の盲導犬の活動数は約1千匹にとどまる。この10年で100匹ほどしか増えていない。



研究用に飼われているラブラドルレトリバー
＝鈴木宏志教授提供

日本旅行のドイツ人デング熱に 国内感染例は60年以上なし

厚生労働省は10日、昨年8月に日本を旅行した51歳のドイツ人女性がデング熱に感染したと発表した。同省は日本で感染した可能性も否定できないとし、都道府県などに情報提供を行った。国内では過去60年以上、感染例の報告はない。厚生省

によると、女性は8月19～31日の間、長野、山梨、広島、京都、東京の5都府県を回った。帰国後、高熱などの症状を訴え、検査の結果、デング熱と診断された。入院1週間後に回復し、退院した。

デング熱は蚊を媒介して感染する。多くの場合3～7日の潜伏期間後に、発熱や頭痛、筋肉痛、皮膚の発疹などの症状が出る。まれに重症化する。東南アジアや中南米などで流行しており、海外へ渡航した日本人の感染者は年間約200人いる。

読売新聞 1月11日

平成25年度埼玉県獣医師会学術広報版

(平成26年1月20日現在)

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
5月19日(日)		南第一支部・南第二支部 「僧帽弁閉鎖不全症の内科治療の限界と外科治療の可能性」 日本大学 上地正美 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
6月15日(土) ～16日(日)	第86回獣医麻酔外科学会／第98回日本獣医循環器学会／第53回日本獣医画像診断学会 2013春季合同学会 (さいたま市 大宮ソニックシティ)		
8月25日(日)		北支部・八日会 「より安全で痛みのない獣医療を目指して伴侶動物の麻酔モニタリングと麻酔中の呼吸循環系異常に対する対応」 酪農学園大学 山下和人 先生 (熊谷市 熊谷文化創造館さくらめいと)	
9月8日(日)	平成25年度 関東・東京合同地区獣医師大会(群馬) 獣医学術関東・東京合同地区学会 (群馬県渋川市 ホテル木暮)		
9月15日(日)		東支部 「明日からの眼科診療に役立つシリーズ 犬種別眼科疾患：プードル・ヨークシャテリア」 どうぶつ眼科eye vet 小林一郎 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
10月13日(日)		東支部 「あなたは運動器疾患をどこまで診断できますか？」 日本大学 枝村一弥 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
10月20日(日)		北支部・八日会 「より安全で痛みのない獣医療を目指して犬猫の心肺蘇生ガイドライン～RECOVER～」 酪農学園大学 山下和人 先生 (熊谷市 熊谷文化創造館さくらめいと)	

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
11月3日(日・祝)		東支部 「皮膚病が治らない！どうしたら治るか考えてみよう」 アジア獣医皮膚科専門医 村山信雄 先生 (春日部市 春日部市商工振興センター アクシス春日部)	
11月8日(金)	北支部・八日会ほか畜産関係団体 「牛白血病ウイルス (BLV) 感染症の現状と対策」 北海道大学 今内覚 先生 (本庄市 早稲田リサーチパークコミュニケーションセンター)		
11月17日(日)		南第一支部・南第二支部 「よくある細胞診の見方と考え方」 日本獣医生命科学大学 菅上大吾 先生 (さいたま市 さいたま共済会館)	
11月24日(日)		さいたま市支部 「犬の慢性肝炎の診断と治療」 日本大学 坂井学 先生 (さいたま市 With You さいたま)	
11月24日(日)		西支部 「眼科疾患における点眼薬の使い方」 くにたち動物病院 遠藤雅則 先生 (川越市 南文化会館)	
12月1日(日)		北支部・八日会 「ふらつきや背部痛のある動物を、どう診断し、どう治療するか？」 日本大学 枝村一弥 先生 (本庄市 本庄市児玉文化会館セルデイ)	
12月12日(木)			平成25年度 「狂犬病予防対策に関する講習会」 国立感染症研究所獣医科学部室長 井上智 先生 狂犬病臨床研究会会長 佐藤克 先生 (さいたま市 大宮法科大学院大学)
12月15日(日)		西支部 「猫の腫瘍の化学療法」 麻布大学 川村裕子 先生 (川越市 南文化会館)	
12月20日(金)	農林支部 平成25年度 埼玉県家畜保健衛生業績発表会 (さいたま市 埼玉会館)		
平成26年 1月13日(月・祝)		さいたま市支部 「リハビリテーションってどうなの？～何をどのようにして行うか最新知見を交えて～」 日本大学 枝村一弥 先生 (さいたま市 With You さいたま)	
2月21日(金) ～23日(日)	平成25年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (千葉) (千葉市 幕張メッセ (国際会議場))		
2月	農林支部 関東甲信越家保業績発表会(7日) (さいたま市 大宮ソニックシティ)		衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
3月23日(日)		西支部 「内分泌を極める 糖尿病疾患の診断と治療のアップデート」 東京大学 松木直章 先生 (川越市 南文化会館)	

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vmc.org/>

ID：SVMA（半角・大文字） パスワード：MITSUO（半角・大文字）

- | | | | |
|--------|--|-----------|---|
| 12月20日 | 平成25年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会（さいたま市 埼玉会館） | 2月7日～9日 | 日本獣医内科学アカデミー第10回記念学術大会（神奈川県横浜市 パシフィコ横浜） |
| 12月27日 | 仕事納め | | |
| 平成26年 | | 2月11日 | 埼玉県獣医師会主催ボウリング大会（さいたま市 スポーツ浦和国際ボウル） |
| 1月6日 | 仕事始め | | |
| 1月7日 | 豊かな埼玉をつくる県民の集い（さいたま市 パレスホテル大宮） | 2月13日 | 公益法人定期提出書類に関する説明会（さいたま市 さいたま市民会館うらわ） |
| 1月13日 | さいたま市支部学術講習会（さいたま市 With You さいたま） | | |
| 1月14日 | 知事と農林水産業団体長との懇談会（さいたま市 知事公館） | 2月18日 | 埼玉県獣医師会開業会員の確定申告個別相談会（さいたま市 埼玉県農業共済会館） |
| 1月19日 | 西支部新年会（川越市 川越プリンスホテル） | 2月21日～23日 | 平成25年度日本獣医師会獣医学術年次大会(千葉)（千葉県千葉市 幕張メッセ、アパホテル&リゾート東京ベイ幕張） |
| 1月19日 | 北支部・八日会合同新年会（深谷市 埼玉グランドホテル深谷） | | |
| 1月22日 | 「新春懇談会」開催に係る打合せ会（さいたま市 大宮ラフォーレ清水園） | 3月6日 | 平成25年度関東・東京合同地区獣医師会連合会第3回理事会（群馬県高崎市 ホテルメトロポリタン高崎） |
| 1月26日 | さいたま市支部新年会（さいたま市 ホテルブリランテ武蔵野） | | |
| 1月26日 | 南第一支部新年会（さいたま市 浦和ロイヤルパインズホテル） | 3月20日 | (学)シモゾノ学園大宮国際動物専門学校卒業式（さいたま市 パレスホテル大宮） |
| 1月26日 | 東支部新年会(越谷市 越谷サンシティ) | | |
| 1月29日 | 平成25年度狂犬病予防協会研修会（桶川市 さいたま文学館） | 3月23日 | 西支部学術講習会（川越市 南文化会館） |
| 2月6日 | 埼玉県獣医師会公益社団法人移行記念新春懇談会（さいたま市 大宮ラフォーレ清水園） | | |
| 2月7日 | 畜産懇話会（熊谷市 ホテルヘリテージ） | | |
| 2月7日 | 埼玉県畜産会理事会（熊谷市 ホテルヘリテージ） | | |

編集後記

あけましておめでとうございます。本年もよろしくおねがいいたします。

元旦の日の出は、今年も雲一つない青空に力強く昇った。安倍首相が放ったアベノミクスの矢も見事に的中して国民の期待に応えてくれることを願いたい。

しかし、うまくいくかと思いきや、安倍総理に続いて総務大臣までが靖国神社に参拝した。

靖国神社への参拝については、色々な議論もあるが、中国、韓国、更には何とか治まらないか？と心配していたアメリカまでもが“がっかりした”と言っている。菅官房長官は止めたと言うが、ここ10年で7名の総理大臣が変わったお国なので、ハラハラして見ているのだろう。

これは自業自得なのか？ それとも誰かが後ろで糸を引いているのか？ 落とし所を見つけての行動であることを願いたい。

今年はスポーツイヤーだ。スキー女子ジャンプの高梨沙羅ちゃんが大活躍しているが、間もなくソチオリンピック、サッカーのW杯、そして、夏のオリンピック、パラリンピックと日の丸を背負った選手達がどんな筋書きのないドラマを見せてくれるか今から楽しみだ。そして2020年の東京オリンピックに向けて景気もスパートだ。

その前哨戦とまではいかないが、正月には高校生の浦和勢が頑張った。惜しくも一回戦で負けてしまったが、ラグビーは県立浦和高校、サッカーもさいたま市立浦和高校だ。

特に県立浦和高校は全国の公立高校で東大の進学率がトップ、文武両道だ！とテレビやマスコミで盛んに取り上げられていた。素晴らしいではないか。何処の高校もそうありがたい。深谷高校に何度も挑戦しやっとならば花園のキップ、何とか勝たせたかった。

市立浦和高校も後半は攻めまくっていたが、前半の3点は取られ過ぎだ。負けた富山第一高校は最後の国立での高校サッカー決勝、対星稜高校との試合で後半と延長で1点ずつ取って逆転して優勝したのだ、負けても無理もない。両校とも良くやった、県内の公立高校の目標になれば嬉しい。

1974年にフィリピンのルバング島で29年間【不撓不屈】の精神で潜伏して生還された小野田寛郎さんが91歳の命を閉じられた。生還され

た時、とっさに「すまない！」と思った方は小生だけではなかったろう。同世代に父を持つ身には、もし父が帰っていなければ自分の存在は無い、帰って来たからこそ今の自分がある。もし小野田少尉が終戦後直ぐに帰っていたら団塊の世代の同級生がいたはずだ。命令とは言え良くぞ生き延びられた。

小野田さんの「人はもともと殺し合う様には出来ていない」と言う言葉は全世界の人が肝に銘じておくべき重い言葉である。本当にご苦労様でした、ご冥福を祈ります。

埼玉県内の圏央道が、早ければ2014年中に東北海道～関越道～中央道そして東海道へと繋がるそう。いつの日か常磐道から東海道まで繋がるのが夢だった。会議や講習会、イベント、旅行などで利用される会員への時間的な負担が軽減されるのは大変嬉しい。

2月6日には、既に先月の会報でお知らせし、また本号の高橋会長の新年のご挨拶並びに各支部長さんからも案内があったかと思うが、埼玉県獣医師会の公益社団法人への移行を記念し、初めての試みとして、大宮ラフォーレ清水園において、今年の総会で公益社団法人日本獣医師会の会長に新たに就任された蔵内勇夫会長からは今後の抱負を、また、東京大学動物医療センター長の辻本先生からは、症例と大学病院への紹介法についてのお話をいただくことになっている。獣医師会の行う狂犬病予防注射については、特に地方自治体や各界との密接な連携が必要になっており、関係する皆様をお招きしての記念講演並びに交流（懇談）会でもあり、またとない機会だ。是非、多数の会員の参加をお願いいたします。

また、2月7日～9日までパシフィコ横浜で獣医内科学アカデミーが、11日には厚生委員会主催のボウリング大会が浦和の国際ボウルで、更に21日～23日までは日本獣医師会の年次大会が千葉県獣医師会主催で東京ベイ幕張メッセにおいて開催されます。

その他には各支部の新年会などの催し物が目白押しですが、それぞれ、会員の皆様には是非参加いただける様お願いいたします。

寒さ厳しき折、会員の皆様方には健康にご留意され、寒さを乗り切りましょう。

(不動)



コスモ理研株式会社

感染性廃棄物・廃試薬・有害産業廃棄物の処理のパイオニア

産廃エキスパート・専門性適合
エコアクション21認証・登録
東京都臨床検査技師会指定業者

地球環境への道しるべ "あんしん"への道

30余年の経験と実績

試薬 実験廃液
ホルモン
アルコール
医療器具・劇薬物品等

学 校
研究施設

病 院
医療施設

感染性廃棄物
注射針・メス・検査キット
実験動物・組織等
医療廃棄物全般

残った消毒液
パソコン
汚泥
期限切れ防災用品等

役 所

検査機関

各種廃液
有機・無機・重金属・
砒素・シアン・クロム
水銀化合物等
医薬品、実験器具

処理困難物(内容不明な廃液・試薬)水銀含有物、レセプト、医療機器等々、
その他処分にお困りのものがございましたら、先ずはお気軽にお問い合わせ下さい。



これらの廃棄物は、
㈱クレハ環境、
野村興産㈱、
東京臨海リサイクル㈱、
群馬環境リサイクルセンター㈱、
シンシア㈱、
都築鋼産㈱等で
処分を行っています。

本社:〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-347 TEL 03-5820-1229 FAX 03-5687-6030

コスモフレッシュ

安定化二酸化塩素水溶液
二酸化塩素ゲル

最先端化学技術
から生まれた
空間除臭・除菌剤

接触感染防止
塩素の3倍
飛沫感染防止
塩素の2.6倍

コスモフレッシュの効果
二酸化塩素徐放技術によって、
単なる消臭剤や芳香剤には不可能な
【除菌】【消臭】【分解】
の3つの効果で
空間全体を衛生的な状態に保ちます

除菌 消臭

製品ラインナップ

防カビ

ウイルス
除去

安定化二酸化塩素液
対象物に直接吹きかけて使用する
特徴は強力な消臭効果

二酸化塩素ゲル(専用ファン付)
空間に二酸化塩素を発生させる
特徴は強力な除菌効果

細菌やカビ臭いの元に
直接作用して分解除去

動物の気になる
臭いにも絶大な
効果を発揮します



製品に関する
お問い合わせは
コスモ理研様まで

本 社	業 務 本 部	埼 玉 県 越 谷 市 恩 間 新 田 7 0 - 3	T E L	0 4 8 - 9 7 9 - 6 3 8 1
東 支	社	茨 城 県 水 戸 市 内 原 町 1 4 6 7 - 1 7	T E L	0 2 9 - 2 5 9 - 2 9 5 1
京 支	社	千 葉 県 八 千 代 市 菱 丸 1 0 7 7 - 1	T E L	0 4 7 - 4 5 8 - 4 0 5 7
埼 支	社	埼 玉 県 越 谷 市 恩 間 新 田 7 0 - 3	T E L	0 4 8 - 9 7 8 - 2 6 2 1
神 支	社	神 奈 川 県 川 崎 市 多 摩 区 長 尾 7 - 1 7 - 1 3	T E L	0 4 4 - 8 6 6 - 4 5 0 6
神 支	社	群 馬 県 太 田 市 丸 山 町 1 3 3 4	T E L	0 2 7 6 - 3 6 - 1 8 8 8

ACTY



ミルクが出ない



太りすぎ



卵が少ない

そんな悩みを

わかっていてくれる。



治りが遅い



高齢化



食欲がない

アクティは大切な動物の健康をサポートします。

私共、アクティ動薬事業部は、動物病院ならびに
 牛、豚、鶏などの産業動物を対象とした
 動物用医薬品、特別療法食、医療機器等の販売をしています。
 20世紀は抗生物質の時代、
 21世紀は生菌製剤の時代といわれるように、
 健康に関する考え方も大きく変化してきています。
 私たちは、獣医療を支えている関係者、畜産農家、
 ペットオーナーの皆様方と共に、健康で、豊かで、安心な
 生活を営んでいけるように、力を注いでまいります。

本社・長野県営業部

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村8228
TEL:0263-87-7247 FAX:0263-87-7247

北関東営業所

〒370-1135 群馬県佐波郡玉村町板井870
TEL:0270-65-0552 FAX:0270-65-0553

さいたま営業所

〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西5-3-24
TEL:048-611-6111 FAX:048-611-6116

千葉営業所

〒260-0851 千葉県千葉市中央区矢作町243
TEL:043-308-0221 FAX:043-308-0223

茨城営業所

〒311-4152 茨城県水戸市河和田1丁目1642-1
TEL:029-306-8271 FAX:029-251-3880

アクティ株式会社

<http://www.acty-kk.com>

広告

動物 未来 みつめる ひろがる



ゼノアック
ZENOAQ

動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

代表取締役 **高野恵一**

URL : www.zenoaq.jp

広告

動物病院・ペットショップなどのペット環境および施設の衛生管理にー ペットクリーンナビ

PET CLEAN NAVI

M MORIKUBO



消臭・除菌
ウイルス除去

二酸化塩素水

安心のペット環境づくりに。
同梱のタブレットを溶解してご使用ください。

電解アルカリイオン水

洗浄・除菌

ペットと環境に優しいのに驚きの洗浄力！
二度拭きいらずの洗浄・除菌水。



スプレー各1本入りの
お得なセット



【容量】各100 mL

M 森久保薬品株式会社 神奈川県厚木市栄町 1-8-17
TEL : 046-222-2333(代)

東京 : 042-564-2381 埼玉 : 04-2968-0881 三郷 : 048-948-2112 神奈川 : 046-221-0620 ツクバ : 0296-43-1661

山梨 : 055-224-5278 群馬 : 027-230-3322 栃木 : 028-666-3399 茨城 : 029-241-3131 成田 : 0476-40-5811 茂原 : 0475-24-1613